

## 踏み跡 < My mountains >

奥多摩

御岳山から御前山へ

No. 006

昭和 36 年 8 月 20 日

関根と彼の中学校時代の同級生の女性二人、これに井口が加わり 5 人。

おなじみの 6 時 20 分発長野行に乗り、立川で青梅線に乗り換え。7 時 17 分発氷川行、御嶽駅 8 時 20 分着。素早い行動で 8 時 23 分のバスに乗ることができ、ケーブルカーの滝本駅に 8 時 35 分に到着。バス代は 15 円。滝本からケーブルカーで御岳山に上る。(60 円) 北にピラミッド型の棒の嶺が美しい。

経緯はよくわからないが、同行の女性一人がここで下山し、9 時 30 分曇り空の中の歩き始めは 4 人になった。七代の滝経由のルートをとったので、歩き出しが疲れになってしまった。

大岳山(1266.9m) 10 時 55 分着。昼食の最中に雨が降り出してビニールをかぶっての食事になった。

昼食を終えて 11 時 45 分に出発。大岳山から北西に伸びる稜線に入る。雨の中の下りの岩のごろごろした山道を雨具を付けて歩くのは結構歩きにくい。

鋸山・鞘口山は立ったままで呼吸を整えて、通過。御前山の山頂(1405m)に 15 時に到着。茶店に立ち寄ると、おばさんは一週間前に寄ったのを憶えていて、話が弾み、美味しいお茶に梅干をつけてサービスしてくれた。男性的に日焼けしたおばさんの顔が強く印象に残っている。

二度目の大休止(昼食)として食料のあまりを全部片付けることにした。

16 時 15 分御前山を下山開始。栃寄への下りの途中で大雨に会い、栃寄沢沿いの飯場で雨宿りすることにした。ストーブで体を乾かしながら雨の止むのを待った。体温とストーブの熱とで体中からモウモウと上る湯気に、何とはなしに戦いの後の満足感らしきものを感じた。

小雨になるのを待って歩き始めたら間もなく雨は止んだ。栃寄を経て境に下り、氷川駅までバスに乗ったので疲れていたのかもしれない。氷川駅に着いてすぐに 19 時 18 分の立川行に飛び乗り、新宿に着いたら 22 時を過ぎていた。

曇りのち雨、かなり濡れて歩いたが、無事帰宅できた。山歩きは晴天ばかりではない。思いがけぬ悪天にどう対応出来るかも登山技術のひとつであることを思い知った。

今考えても安いレジャー(?)だった。

たった 540 円で夏の一日が楽しめたのだから、学生の遊びにはちょうどよかった。薄汚れたメモ用紙に書いてあった。

|        |       |
|--------|-------|
| 電車賃    | 390 円 |
| バス     | 30 円  |
| ケーブルカー | 60 円  |
| 茶店     | 20 円  |
| サイダー   | 40 円  |
| 合計     | 540 円 |



<写真上>大岳山山頂(雨にぬれた体を乾かしつつ昼食)  
中央は今亡き関根、この頃はお互いに髪の毛が多かった

以上  
(修正・更新:2023年9月)